

## 【説明書】

＜脳・生理指標マルチモーダル同時計測・解析およびフィールド研究による内受容感覚の気づきと感性の心理学・脳科学メカニズムの解明＞

### 1. 本研究の目的

本研究は、18歳以上80歳未満の健康な男女を対象として、非侵襲的な脳活動測定と、生理計測、行動実験、質問紙を用いて、感性に関わる心理学・脳科学メカニズムを調べることを目的としています。

なお、脳波・生理計測を伴う研究では、以下に該当する方はご参加いただくことはできません。

- (1) 頭部外傷の既往
- (2) 精神・神経疾患の既往
- (3) 現在治療中の病気がある方（高血圧、糖尿病などを含む）
- (4) 現在市販薬も含め定期的な服薬をしている方
- (5) 洗髪により取り除けない頭髮整髪料などを使用している方
- (5) ドレッドヘア、アフロヘア、またはスキンヘッドなどの脳波計測に適さない髪質あるいは頭皮状態の方

本研究の実施に関しては広島大学疫学研究倫理審査委員会の審査を受け、広島大学担当理事の許可を得ています。

### 2. 本研究の内容・方法

ご協力いただいた皆さんには、心拍、呼吸、血圧などの生理反応の測定、または脳波計を用いた脳活動計測、またはその両方を行いながら、イベントに参加していただき、アンケートにご回答いただきます。また、計測中に超高周波音を含む聴覚刺激や体性感覚（触覚刺激）を提示する場合があります。今回の計測は、計測準備時間、生理反応／脳波計測、および小休憩時間を合わせて、2時間以内に終了します。その内、生理反応／脳波計測は2時間以内に終了します。ただし、研究が長時間に及ぶ場合等は、複数日かけて複数回（最大3回）の同様な計測を行う場合があります。また、研究前後に簡単な質問紙アンケートにもご回答いただきます。

この研究は2022年7月5日（実施許可日）から2028年3月31日にかけて行います。集められたデータは全て対象者を識別できないように個人情報加工して保存します。

### 3. 本研究の安全性（本実験に該当するチェック項目のみお読みください）

今回脳生理機能を調べるために用いる脳波計や生理指標デバイスは、全て非侵襲的に生体反応を計測する装置で、広く臨床・研究に用いられています。脳波計の装着による圧迫感による嫌悪感、課題で使用する刺激に対する不快、課題を行うことによる疲労を感じる方がおられますが、一時的なもので大事に至ることはありません。ご負担とお感じになった場合はお申し出いただければいつでも中止することができます。また、万が一体調不良により医師の診療が必要になった場合は、直ちに適切な診療を受けていただくことが可能です。その際の費用は通常の診療と同様に健康保険による自己負担となります。

### 4. プライバシーの保護

この研究で得られた情報については全て個人情報とは無関係の番号をつけて対象者を識別できないように個人情報を加工して分析しますので、ご協力いただいた方の個人

情報が外部に公表されるようなことは一切ございません。

#### 5. 参加された場合の利益および医学上の貢献

私たちの研究は、あなたにとって直ちに役立つものではありません。しかし、検討を重ねることによって、心理学および脳科学の進歩に貢献するものと考えています。

#### 6. データの保存方法および二次利用について

研究により得られた個人情報、氏名等個人を特定する情報がわからないように個人情報を加工して保存されます。データは、脳・こころ・感性科学研究センターにおけるセキュリティーの厳重な部屋に設置したパスワード付きのPC（閉域網上のコンピュータ）に保管し、同意書等の書類は鍵のかかるキャビネットや上記のPCに保管します。データはすべて対象者を識別できないように個人情報を加工して扱いますが、廃棄することは予定していません。

この研究のために集めたデータは、将来この研究とは別の研究に利用させていただく可能性があります。これを「データの二次利用」といいます。データの二次利用の際には、その研究に関する情報を開示し、データ使用の拒否権を行使できるようにします。

本学のホームページ（人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開）  
<https://med.ethics-system.hiroshima-u.ac.jp/rinri/publish.aspx>

また、改めて、倫理審査委員会で承認を受け、研究機関の長から実施許可を得てから個人を特定できない形でデータを使用します。

#### 7. 知的財産権および研究成果の公表について

あなたの協力によって得られた研究成果及び個人情報を除くデータの一部は、氏名等が明らかにならないように個人情報の保護には特に厳重な配慮をした上で、学会発表や学術論文等として公表されることがあります。

#### 8. 研究に関する情報の開示について

希望される場合は他の研究対象者の個人情報などの保護および当該研究の独創性の確保に支障のない範囲内で研究計画書及び研究方法に関する資料を入手または閲覧できます。その際には説明書末尾の連絡先までご連絡ください。

#### 9. 参加された場合の経済的負担

本研究に参加された場合も、特別な経済的負担が加わることはなく、参加された時間や課題の内容に応じて予め決められた額の謝礼をお支払いいたします。

#### 10. 参加されなくても不利益をうけないこと

本研究へ参加するかどうかはあなたの自由です。たとえ参加されない場合でも不利益な対応を受けることは一切ありません。

#### 11. 同意の撤回について

フィールドでのアンケートを用いた研究

アンケートは無記名のため、回答後はどなたのものか判別できなくなります。そのため、回答送信後は同意の撤回ができません。

フィールドでの脳波・生理計測研究

本研究へ参加の同意をした後でも、あなたはいつでも同意を撤回することができます。

#### 12. 回答または文書による同意

フィールドでのアンケートを用いた研究

本研究ではアンケートへの回答をもって本研究へのあなたの同意を得たものとさせていただきます。以上の内容をご理解いただき、もし研究に協力いただけるようでしたら

らアンケートへの回答をお願い致します。

フィールドでの脳波・生理計測研究

本研究ではあなたの同意を文書で得ることが求められています。以上の内容をご理解いただき、もし研究に協力いただけるようでしたら同意書に署名をお願い致します。

13. 研究に係る利益相反に関する状況

本研究は、主に JST ムーンショット型研究開発（Awareness Music による「こころの資本」イノベーションと新リベラルアーツの創出）の資金を受けて行なっています。本研究において開示すべき利益相反（※）はありません。

（※）利益相反とは

臨床研究における、利益相反とは「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれに当たります。このような経済的活動が、臨床研究の結果を特定の企業や個人にとって有利な方向に歪曲させるようなことが無いように利害関係を管理することが定められています。

研究責任者と連絡先および共同研究機関一覧

【研究責任者】

広島大学脳・こころ・感性科学研究センター  
特任教授 山脇 成人

【連絡先】

広島大学脳・こころ・感性科学研究センター  
特任教授 山脇 成人  
〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 TEL 082-257-1722

【共同研究機関（研究責任者）】

京都大学 教育学研究科 教授 明和政子  
関西大学・日本学術振興会 心理学研究科 特別研究員 RPD 田中友香理  
国立精神・神経医療研究センター 神経研究所疾病研究第七部 部長 本田 学